

学校経営方針

1 教育目標

(1) 基本目標

生徒の知・徳・体の調和のとれた成長を期し、豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きようとする生徒を育成する。

(2) 具体目標

① 実力を養う

基礎・基本を確実に身に付け、主体的に学び続ける生徒を育てる。

② 友愛を深める

互いを認め合い、思いやりをもって協働できる生徒を育てる。

③ 品性を高める

自他を大切にし、よりよく生きようとする生徒を育てる。

2 学校経営の理念

(1) 「魅力ある学校」(感動ある学校、安心できる学校)

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の質的向上
- ② 持続可能な社会の創り手を育てる教育の推進
- ③ 規範意識と自律心の育成
- ④ 自己肯定感・自己有用感を育む教育活動の推進
- ⑤ いじめ・不登校の未然防止と早期対応の徹底
- ⑥ 保護者との連携強化

(2) 「地域とともにある学校」

- ① コミュニティ・スクールの機能強化
- ② 地域人材を活用したキャリア教育の充実
- ③ 「宇都宮学」を核とした郷土愛の醸成
- ④ 地域行事への積極的参加
- ⑤ 学校の教育活動の地域への情報発信

(3) 「やりがいのある学校」

- ① 組織的・協働的な学校運営の推進
- ② 教職員の専門性向上と授業改善の推進
- ③ 業務の精選と働き方改革の推進
- ④ 心理的安全性の高い職場づくり

3 学校経営の方針

[河内地域学校園教育ビジョン]

『すこやか河内 ～小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します～』

4 教育課程編成の方針

(1) 確かな学力の育成

- ① 授業改善の徹底（校内外研修・一人1授業公開・地域学校園全体研修による授業力の向上）
- ② 「考える力を育む言語活動の充実」（学校課題）
- ③ 情報活用能力を育成する教育の充実（GIGAスクール構想の実現）
- ④ 家庭学習の習慣化（タブレット端末の利用・AI型個別学習ドリルの有効活用）
- ⑤ 学力調査分析を踏まえた共通実践の徹底

(2) 豊かな心の育成

- ① 「特別の教科 道徳」（考える道徳・議論する道徳）の充実
- ② 読書活動の推進
- ③ 自己肯定感を育む受容と対話
- ④ 「いじめ防止基本方針（改訂版）」の着実な運用
- ⑤ 生徒主体の学校行事運営（運動会・文化祭・合唱コンクール・校内マラソン大会等）

(3) 健康・体力の向上

- ① 健康的な生活を送るための指導の充実
- ② 新体力テストの結果を活用した教科体育の充実
- ③ 食育の充実
- ④ 安全教育の徹底

(4) インクルーシブ教育と不登校対策

- ① Q・Uの活用による学級経営の質向上
- ② かがやきルームの計画的活用
- ③ 別室登校支援の充実と段階的復帰支援
- ④ SC・SSWとの連携強化
- ⑤ 教育相談体制の強化

(5) 情報社会と科学技術への対応

- ① デジタル・シティズンシップを育む指導の推進
- ② プログラミング教育の推進
- ③ 一人1台端末の効果的な活用
- ④ 図書を活用した学習及び「NIE」の推進

(6) 学校における教職員の働き方改革の推進

- ① 校務分掌の精選
- ② 月1回以上のリフレッシュデーの設定
- ③ 学校業務の効率化と勤務時間の管理
- ④ 部活動地域展開への対応準備
- ⑤ 学校行事の見直しと実施に向けた練習・準備等のスリム化

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- ① 安心・安全な学校づくり
- ② 生徒の自己肯定感向上
- ③ 計画的な小中一貫教育の推進
- ④ 教職員の働き方の改善

(2) 学習指導

- ① 学力調査等を踏まえた授業改善
- ② ICT活用の質的向上
- ③ 学校園授業コンセプトの充実
- ④ 言語力の基礎の徹底

(3) 生徒指導

- ① いじめの未然防止
- ② 不登校対策の強化
- ③ 自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる生徒の育成
～規範意識の醸成及び正しい言動での自己表現～

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ① 『健康増進・体力向上の基本的な知識を身に付け、自分の身体の状態を理解し、体力向上に励む生徒の育成』
- ② 運動に親しむための体力づくり
- ③ 望ましい食習慣の形成
- ④ 安全管理の徹底

6 学習指導に関する取組

※ 様式2

7 児童生徒指導に関する取組

※ 様式3

8 健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式4

9 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ① 言語活動の充実によるコミュニケーション能力の育成
- ② 自己の気力・体力・競技力を生かし、その成果に向けて互いに励まし合おうとする態度の育成
- ③ 生徒自ら主体的に生活環境に働きかけようとする態度の育成

- ④ 現代社会における地球規模の課題を自らに関わる問題として捉え、解決に向けて考え、行動する力の育成
- (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）
 - ① 言語活動の充実、読書活動の充実
 - ・ 主体的・対話的で深い学びのある授業実践（各教科）
 - ・ 朝の読書の時間の充実（図書委員会・国語科）
 - ・ ビブリオバトル・ブックトーク等の実施（図書委員会・国語科）
 - ② 感動的な学校行事の推進
 - ・ 縦割りで行う運動会や校内マラソン大会（体育委員会・実行委員会・保健体育科）
 - ・ 生徒主体で行う文化祭や合唱コンクール（生徒会・実行委員会・音楽科他）
 - ◇③ 環境教育の推進
 - ・ 花いっぱい運動、草花の手入れや栽培等、校舎内外の教育環境の整備（環境委員会）
 - ④ SDGs の推進
 - ・ エコ活動、地域環境保全に係る活動の推進（環境委員会・総合的な学習の時間）
 - ・ 持続可能な開発を推進するために必要な知識及び技能の習得
(各教科・総合的な学習の時間・国際理解教育)

10 本市の重点施策・事業との関連

- (1) 地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクールによる実践）
 - ①基本的考え
 - I 地域の教育力を生かした学校教育の充実
 - II 地域ぐるみの児童生徒の健全育成・安全確保
 - III 学校行事等を活用した家庭・地域の教育力向上
 - ②主な取組
 - I 地域の教育力を生かした学校教育の充実（カリキュラムマネジメント）
 - ア 学習支援活動
 - ・ 総合的な学習の時間における福祉体験
 - ・ 「地域未来塾」の広報活動と活動内容の検討・充実
 - ・ 国語科書写の毛筆指導
 - ・ 技術・家庭科における食育(地産地消の意義等)
 - イ 校内環境整備
 - ・ PTAクリーン活動
 - ・ 図書室蔵書整理
 - ・ 委員会活動と連携した花の手入れや栽培（昇降口前・中庭での花の栽培等）
 - ウ 部活動指導員及び部活動外部指導者の活用
 - II 地域ぐるみの児童生徒の健全育成・安全確保
 - ア 地域巡回指導（原則月2回）
 - イ あいさつ運動（「かわちあいさつの日」毎月1日）の実施

Ⅲ 学校行事等を活用した家庭・地域の教育力向上

ア 家庭教育活動 P T A講演会等

イ 地域教育活動 学校園交流活動

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

『すこやかに学ぶ子ども像』を設定し、小中学校の連携を図りながら児童・生徒への教育の充実を目指す。

『すこやかに学ぶ子ども像』

- ・ 学び方を身に付けている子ども
- ・ 家庭学習の習慣を身に付けている子ども
- ・ 言葉の正しいつかい方を身に付けている子ども

②主な取組

- ・ 小学校乗り入れ授業を通し、授業力の向上に努め、中1ギャップの解消を図る。
- ・ 運営会議、全体研修会、専門部会、教科部会 ⇒ 年間6回（リモート等の開催含む）
- ・ 小中合同あいさつ運動 ⇒ 年間4回
- ・ 地域学校園授業コンセプトの定着・充実
- ・ 生徒会による小6生中学校訪問時での学校紹介等の実施
- ・ すこやか河内学校園「生活のきまり」の共通指導

【河内地域学校園授業コンセプト】

『対話的な学びを通して、考えを広げ深める授業の展開

—言語力の基礎の徹底と学習形態の工夫—

(3) いじめ・不登校対策

①基本的考え

チームによる相談体制の強化及び学校・地域・関係機関の連携を強化し、いじめを受けている生徒、不登校生徒への対応の充実を図る。

②主な取組

- ・ 教育相談（年3回）の実施
- ・ 家庭との連携強化
- ・ 宮っ子ダイアリーの有効活用
- ・ S Cや校内教育支援センター支援員の活用、S S Wによる支援
- ・ 教育相談部会、校内支援委員会、事例検討会の適時開催と有効活用

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

G I G Aスクール構想の実現を目指し、一人1台端末を授業はもとより日常的に有効活用できるよう、取組を推進する。

②主な取組

- ・ 学びの保障を意識した、家庭におけるタブレット端末の利用
- ・ ICT支援員の有効活用と校内研修の充実
- ・ SNSを介した犯罪やスマートフォン依存防止に向けた、専門家による出前講座の実施
- ・ 個に応じた学習の充実を図るための「AI型個別学習ドリル」の有効活用

(5) 宇都宮学

①基本的考え

地域の教育資源や資料等を有効に活用しながら、郷土の歴史、文化、伝統、産業等について理解を深めるとともに、生徒が郷土への愛情と誇りをもてるよう、指導の充実を図る。

②主な取組

- ・ 総合的な学習の時間における各学年での「宇都宮学」の確実な実施
- ・ 「道徳科地域教材」を通しての地域理解と郷土への愛情を深める授業の工夫
- ・ 総合的な学習の時間等における、河内地区ガイドブック「かわち」の有効活用
- ・ 地域協議会や地域学校協働活動推進員、地域ボランティア等をゲストティーチャーとして実施する授業等の実践（「地域の人に学ぶ」）